

とろろこんぶシステム工房

とろろこんぶ電子印鑑

WORD 押印メニューバー使用ガイド

for Word2010, 2007, 2003, 2002, 2000

Rel 1.4.2 2010/6/2

とろろこんぶ

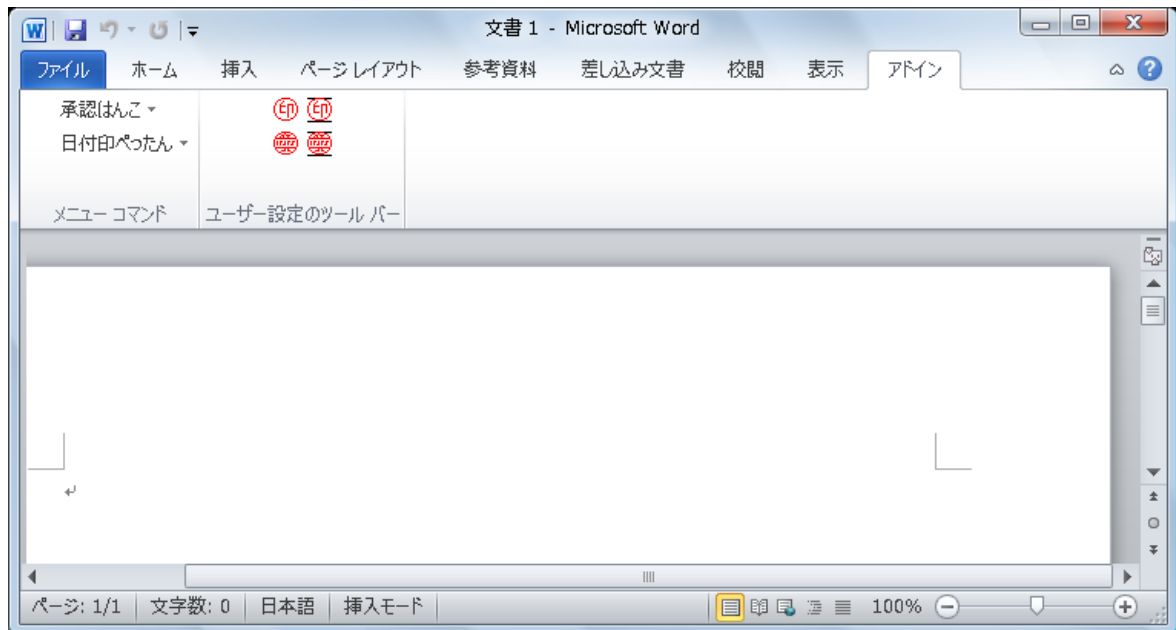
電子印鑑

目次

	ページ
0. はじめに	2
0-1. 承認はんこ/日付印ぺったんが正しくインストールされていることの確認	3
1. はんこツールバーのインストール	4
1-1. インストールに必要なファイル	
Step 0. 事前準備	
Step 1. テンプレートファイル hanko.dot の配置	
1-2. テスト	
1-3. 不必要なボタンの削除	
2. セキュリティレベル	13
3. アンインストール	15
4. 文書のロック（保護）	16
5. 承認定型用紙の作成	17
6. 印影の代わりに {EMBED Shank. Document} が表示される	18
Appendix A. 押印メニューバーアドインマクロの作成・修正	19
Appendix B. Word2007 におけるアドインダイアログの表示方法	21
Appendix C. スタートアップフォルダーの確認方法	22

0. はじめに

このマニュアルでは、ワード文書に「承認はんこ」または「日付印ぺったん」を押印するツールバーボタンのインストール方法を説明いたします。



また、ワード文書に押印するにあたっての注意点、便利な使用法についてトピック的に説明いたします。

はんこツールバーは Word2010, 2007, 2003, 2002, 2000 で動作します。

0-1. 承認はんこ/日付印ぺったんが正しくインストールされていることの確認

はんこメニュー/ツールバーが動作するには、承認はんこまたは日付印ぺったんがインストールされている必要があります。Word の[オブジェクトの挿入]ダイアログ中のオブジェクトリストに「承認はんこ」または「日付印ぺったん」がリストされていることをご確認ください。リストされないようでしたら、承認はんこまたは日付印ぺったんのインストールを再確認してください。

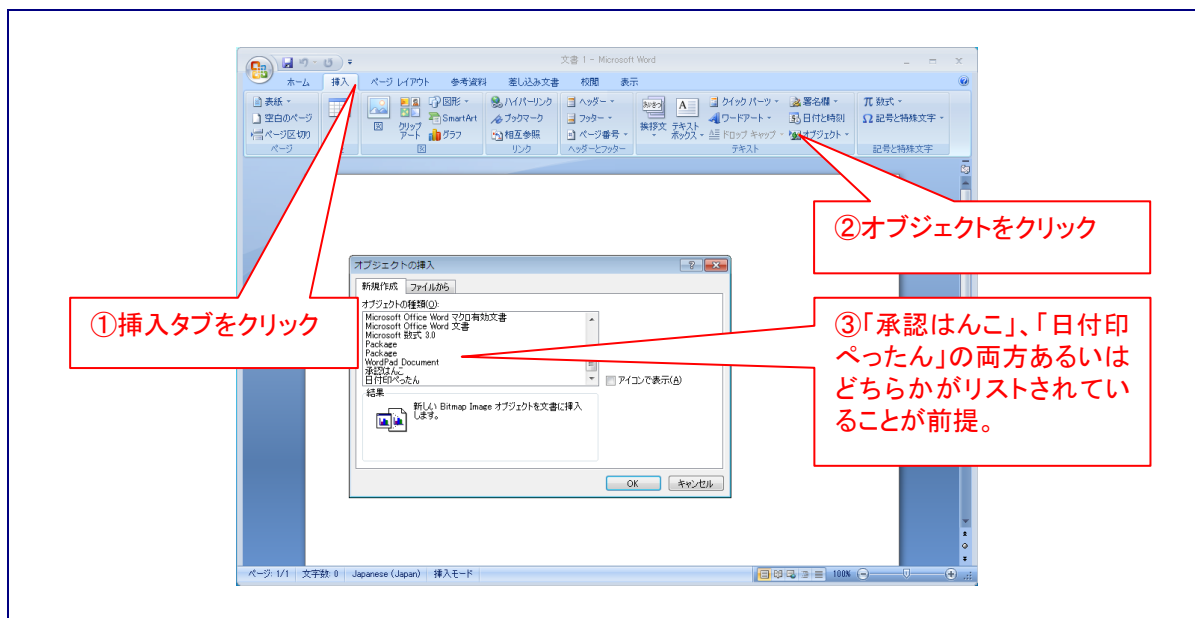
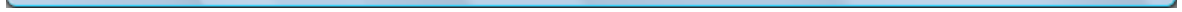


図 0-3 オブジェクトの挿入ダイアログに「承認はんこ」、「日付印ぺったん」がリストされていることを確認してください。リストされない場合は「承認はんこ」、「日付印ぺったん」のインストールを再実行してください。この図は Word2007 の場合です。Word2003/2002/2000 の場合は メニュー[挿入:オブジェクト]を選択すれば オブジェクトの挿入ダイアログ が開きます。

[illegible][illegible]

1-1. インストールに必要なファイル

必要なファイルは テンプレートファイル hanko.**.dot だけです。

このファイルは Word2000, WordORDXP, WordORD2002, WordORD2003, Word2007 すべてに共通です。このテンプレートを用いれば、挿入メニューからオブジェクトの挿入メニューを選び、さらにオブジェクトリストから承認はんこを捜すという一連の面倒な操作を省くことができます。

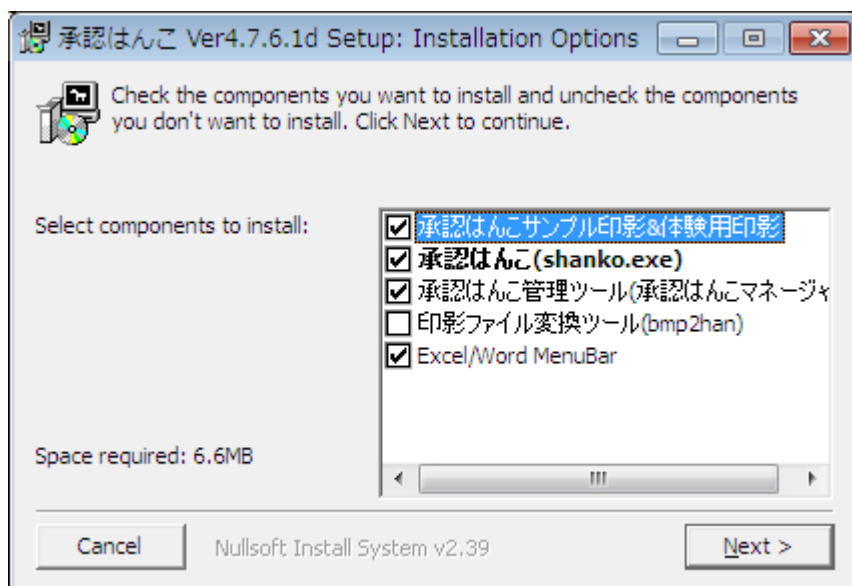
とろろこんぶ電子印鑑押印テンプレートファイル hanko_*.dot は次の表のように3種類あります。いずれか1つをインストールしてください。

テンプレートファイル名	説明
hanko.dot	承認はんこと日付印ぺったんを使用する場合。
hanko_sh.dot	承認はんこのみを使用する場合。
hanko_pt.dot	日付印ぺったんのみ使用する場合。

注意) CD-ROM から hanko.dot をハードディスクにコピーした場合は「読み取り専用」になっています。読取専用を解除してください。読取専用解除はファイルをマウス右クリックしてプロパティから行えます。

承認はんこ/日付印ぺったんのインストーラで「Excel/Word MenuBar」を選択した場合は、Word 押印メニューバーのインストール作業は自動的に行われるので必要ありません。

次の Step0 を実行する必要はありません。



【重要】

承認はんこ あるいは 日付印ぺったん のインストーラで [Excel/Word MenuBar] を選択した場合は アドインマクロがアドインフォルダーに自動的に配置されます。

特にインストール作業を行う必要はありません。

次の STEP0 を行う必要はありません。

以下、手動でインストールする場合について説明いたします。

Step0. アドインマクロテンプレートファイルの手動による配置

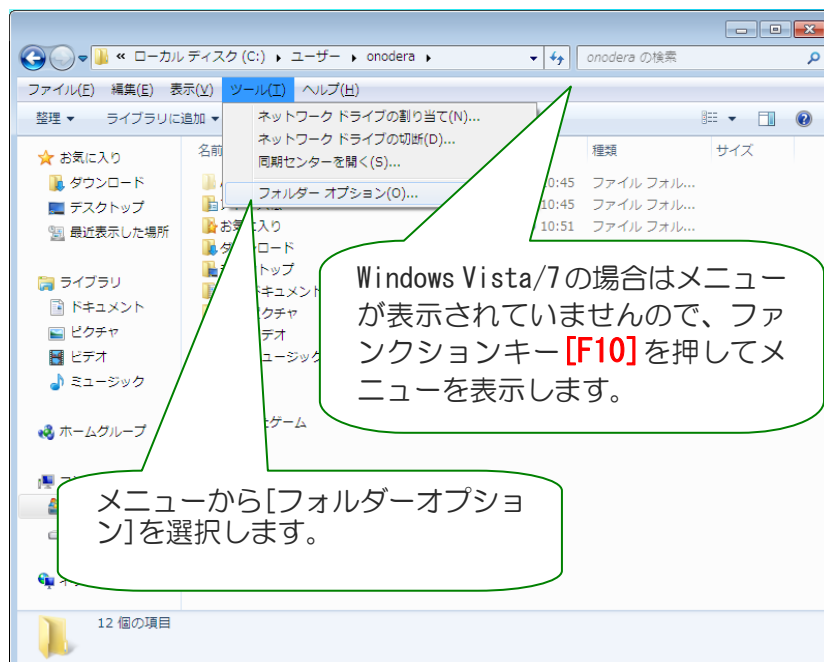
テンプレートファイルを置くためのスタートアップフォルダーがエクスプローラ上で表示されるようにします。

手順1) エクスプローラを開きます。

右面は Windows7 の例。Windows Vista でも同じです。

WindowsXP の場合はファンクションキー[F10]を押さなくてもメニューが表示されています。

フォルダーオプションを選択します。



手順2) Windows Vista/7 の場合はメニューが表示されていないので、ファンクションキー[F10]を押してメニューを表示します。(図 1-1)

手順3) メニュー[ツール：フォルダオプション]を選択し、開いたフォルダオプションダイアログのタブ「表示」を選択してください。(図 1-1、図 1-2)

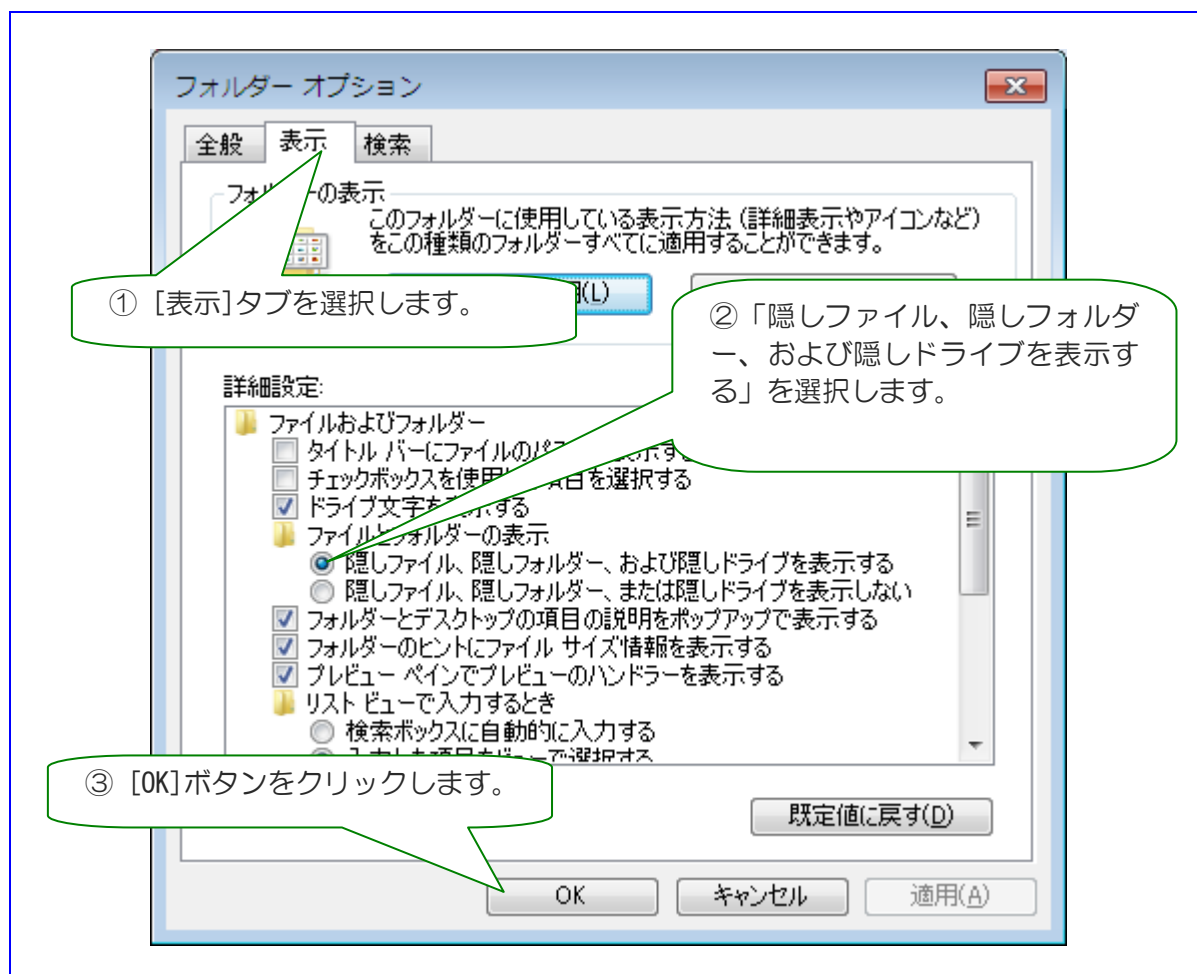


図 1-2 画面は Windows7 の例。Windows Vista/XP でもほぼ同じです。「隠しファイル、隠しフォルダーを表示する」を選択します。

手順4) 「隠しファイル、隠しフォルダーを表示する」を選択します。

手順5) ボタン[OK]をクリックしてフォルダーオプションダイアログを閉じます。

手順6) Word が起動している場合は終了させてください。

手順7) スタートアップフォルダーにテンプレートファイル hanko.dot を置いてください。

スタートアップフォルダーはデフォルトでは以下の場所になっています。

【Windows7 および Windows Vista の場合】

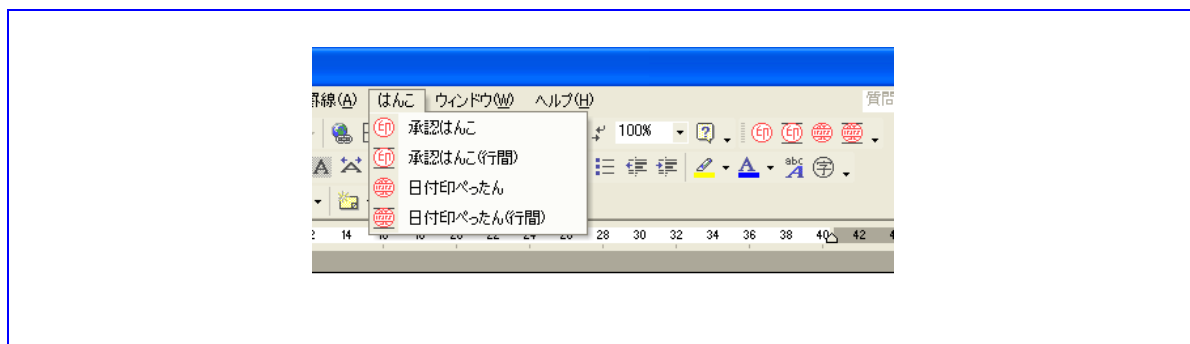
C:\ユーザー\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\Word\STARTUP

【WindowsXP および Windows2000 の場合】

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Application Data\Microsoft\Word\STARTUP

詳しくは「Appendix C.. スタートアップフォルダーの確認方法」を参照してください。

手順8) MS-Word を起動します。はんこメニュー/ツールバーが表示されます。



はんこメニューが表示されます。(Word2003, Word2002, Word2000 の場合)



はんこメニューが表示されます。(Word2007 の場合)

以上でインストールは終了です。

参考) アドインマクロダイアログを用いて登録する

スタートアップフォルダーにテンプレートファイルを置く方法以外にテンプレートフォルダーにおく方法もあります。参考に説明しておきます。

手順0) テンプレートファイル hanko.dot をテンプレートフォルダーに入れてください。

【WindowsXP および Windows2000 の場合】

C:\¥Documents and Settings¥ユーザ名¥Application Data¥Microsoft¥Template

【WindowsVista の場合】

C:\¥ユーザ¥ユーザ名¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Template

手順1) MS-Word を起動します。

手順2) アドインダイアログを開きます。

Word2000/2002/2003 の場合はメニュー「ツール」→「アドイン…」を選択します。

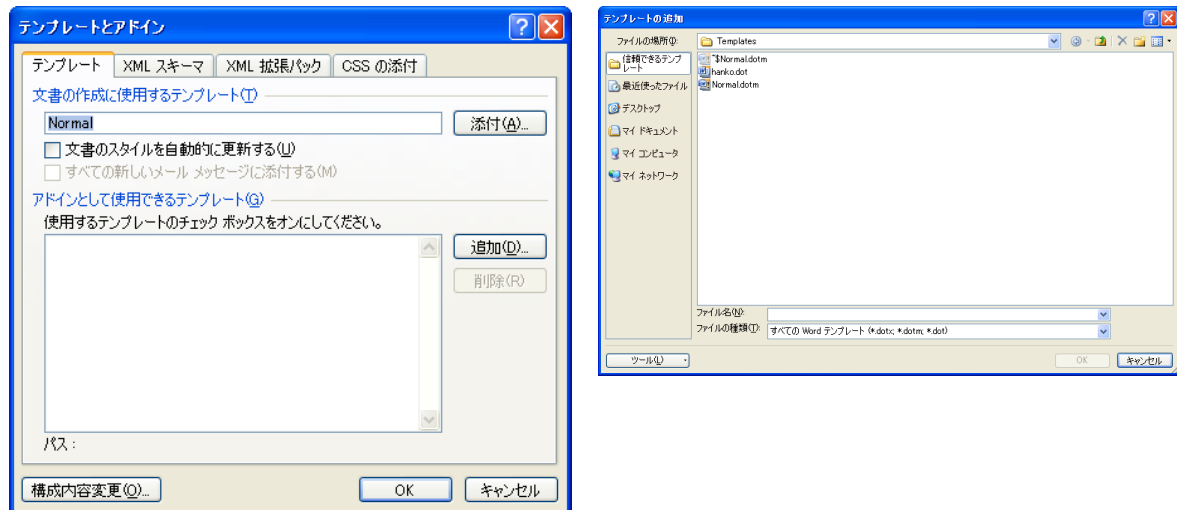


図 1-7 テンプレートとアドインダイアログ 図 1-8 hanko.dot を選択します。

手順3) テンプレートとアドインダイアログが開きますので、ボタン「追加…」をクリックします。(図 1-7)

手順4) アドインマクロファイルファイル hanko.dot を選択し、OK ボタンをクリックします。(図 1-8)

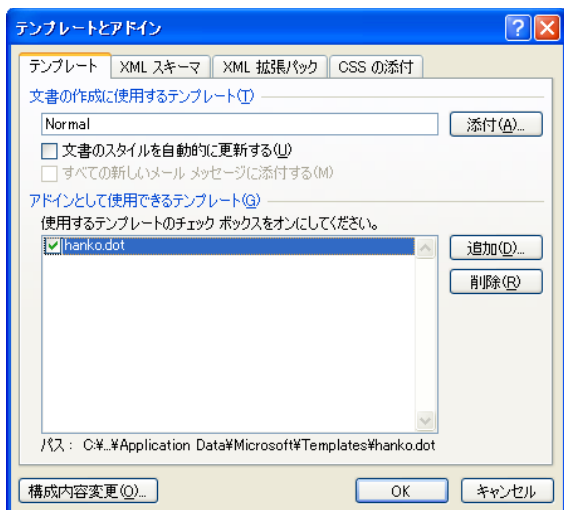


図 1-9 アドインとして利用できるテンプレートに hanko.dot が追加されています。

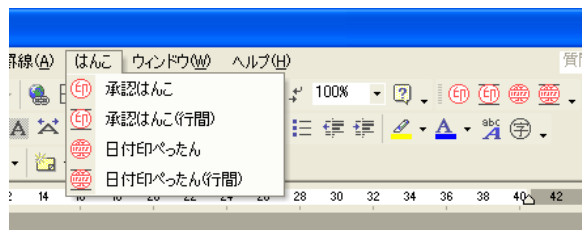


図 1-10 はんこメニューが表示されます。(Word2003, Word2002, Word2000 の場合)

手順5) アドインとして利用できるテンプレートに hanko.dot が追加されたことを確認します。(図 1-9)

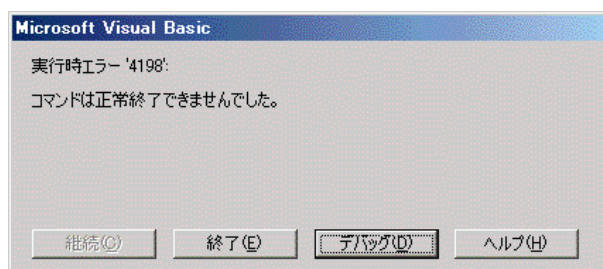
hanko.dot にチェックが付いていない場合はチェックを付け、ボタン OK をクリックしてテンプレートとアドインダイアログを終了します。チェックすると、はんこメニューが表示されます。(図 1-10)

手順6) 一旦 Word を閉じて、再度 Word 開き、はんこメニューが表示されていることを確認します。

1-2.テスト

インストールした押印ツールバーを使って承認はんこあるいは日付印ぺったんを押印してみてください。

エラー「Microsoft Visual Basic 実行時 '1004':オブジェクトを挿入できません。」
或いはエラー「Microsoft Visual Basic 実行時エラー '4198':コマンドは正常終了できませんでした。」が表示されるようでしたら、「承認はんこ」あるいは「日付印ぺったん」が正しくインストールされていません。



それぞれのインストールマニュアルに従ってインストールしてください。

1-3. 不要なボタンの削除

Word2003/2002/2000 の場合、不要なボタンを削除したり、メニューを英語にしたりできます。

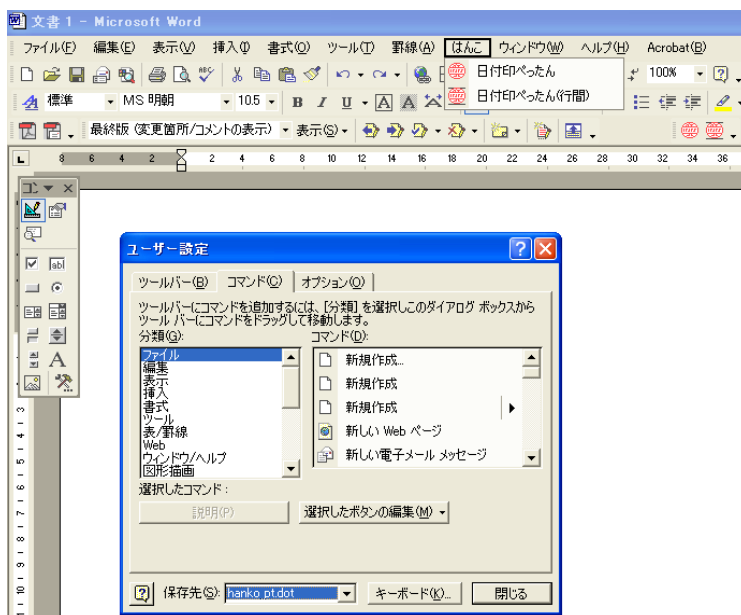
手順 1)

Word を起動し、メニュー
[ツール: ユーザ設定...]
を選択します。

ユーザー設定ダイアログ
が起動します。

保存先を [hanko_*.doc]
にします。

この状態で、不要なボタン
を削除したり、メニュー名
を変更したりできます。

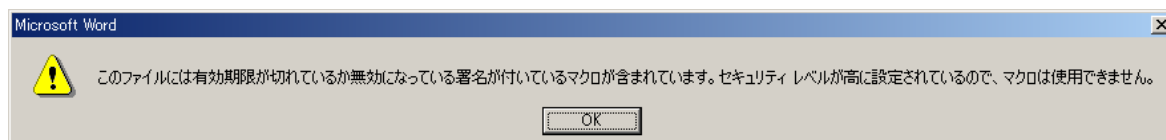


手順 2. 不要なボタンをマウス左ボタンでドラッグし、ツールバーから外に出します。
ボタンが削除されたはずです。

2. セキュリティレベル

基本的にはデフォルトのセキュリティーレベルでとろろこんぶ電子印鑑押印メニューバーは動作しますので、この章は呼び飛ばしてかまいません。

Word2000 以降のバージョンでツールバーをインストール後、初めて用いたとき ” マクロが見つからないか、またはマクロに対するセキュリティーレベルが設定されているためマクロが無効にされています” などと出て使用できないことがあります。

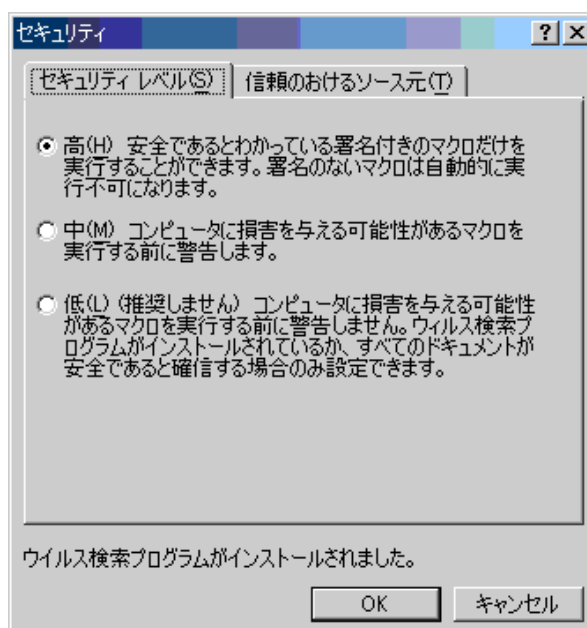


参考)Office2000, OfficeXP はマクロのセキュリティーレベルが設定できるようになっています。Word のセキュリティー レベルが [高] に設定された状態で文書を開く場合、または署名されていないマクロが含まれたアドインをロードする場合、マクロは無効になり実行できません。セキュリティー レベルを [中] に変更するか、あるいはドキュメントをいったん閉じ、再び開く、またはアドインのロードをいったん中止し、再び開始することによって、デジタル署名されていないマクロを有効にすることが可能です。

対策はセキュリティーレベルを下げていくことになりますが、ツールバーのインストール方法や Word のバージョンによって対策方法が異なります。対策 1、2、3 を順番に行ってください。なお、セキュリティーの設定を変更したら、WORD を再起動してください。再起動しないと変更が反映されないようです。

対策を取る前に、基本的にはセキュリティーを一旦「高」のレベルにすることをお勧めいたします。

1. [ツール] メニューの [マクロ] をポイントし、[セキュリティ] をクリックします。
2. [セキュリティ レベル] タブをクリックし、適用するセキュリティー レベルをクリックします。
3. セキュリティーレベルを「高」にします。



設定が終わりましたらワードを再起動します。

対策1)WORD を再起動してみてください。

Word2000 の場合はエラーが出ないはずですが、WordXP の場合はエラーとなります。

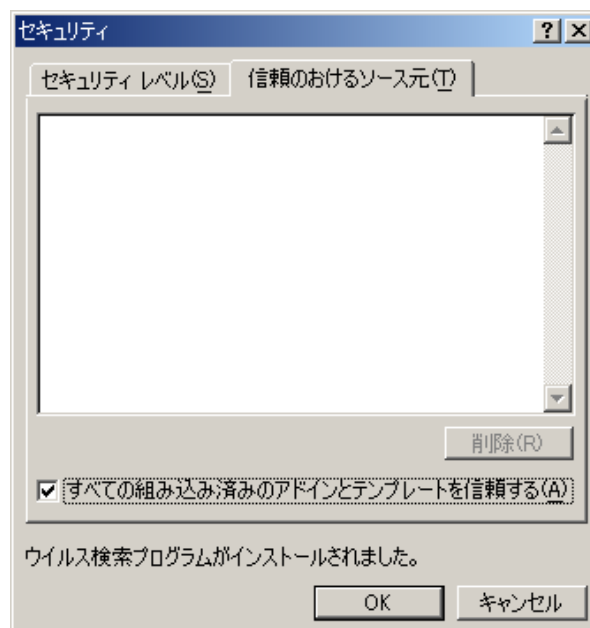
参考)はんこツールバー以外のマクロ、例えばアクロバットなどが組み込んである場合はエラーになるかもしれません。

エラーとなる場合は対策2をやってみてください。

対策2)組み込み済みアドインを許可する

メニュー「ツール → マクロ → セキュリティー」を選択します。

セキュリティーダイアログが表示されましたら、タブ「信頼のおけるソース元」を選択します。



「すべての組み込み済みのアドインとテンプレートを信頼する」にチェックを付け、ボタン「OK」をクリックします。
設定が終わりましたらワードを再起動します。

これにより、セキュリティーレベルは「高」でも組み込み済みのアドインマクロは実行できるようになったはずですが。

参考)Word XP の場合、ツールバーのインストール方法によっては対策2を行ってもエラーになるかも知れません。その際は対策3を行ってください。

対策3)セキュリティーレベルの変更

1. [ツール] メニューの [マクロ] をポイントし、[セキュリティー] をクリックします。
2. [セキュリティー レベル] タブをクリックし、適用するセキュリティー レベルをクリックします。
3. セキュリティーレベルを「中」以下にします。

設定が終わりましたらワードを再起動します。

対策3の方法はセキュリティーレベルを下げるためお勧め出来ません。

3. アンインストール

3-1. スタートアップフォルダから hanko. dot を削除してください。
インストール時にスタートアップフォルダーにコピーした hanko.dot を削除するだけでアンインストールは完了します。

削除後、WORD を再起動すればはんこツールバーが消えるはずです。

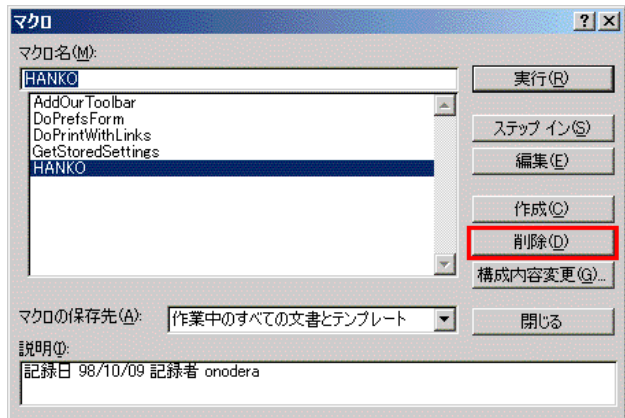
【消えなかった場合】

オフィスのバージョンや環境によってはまれに消えない場合があるようです。
その場合は、標準のテンプレートファイル（Normal.dot あるいは標準.dot）に組み込まれているためです。次の方法で削除してください。

3-2. マクロの削除

メニュー「ツール」->「マクロ」->「マクロ…」を選択し、マクロダイアログを開きます。

マクロ「HANKO」を選択し、ボタン「削除」をクリックします。マクロ「PETTAN」がリストに存在する場合は同様の方法で「PETTAN」も削除します。これでマクロの削除は終了です。



3-3. ツールバーの削除

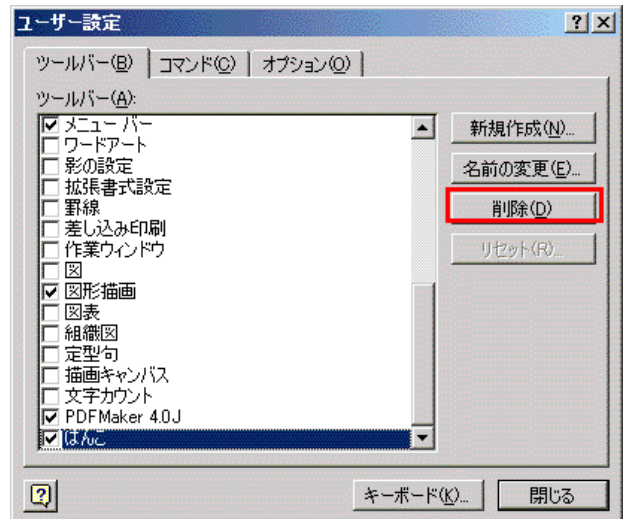
メニュー「ツール」->「ユーザ設定…」を選択し、ユーザ設定ダイアログを開きます。

ツールバー「はんこ」を選択し、ボタン「削除」をクリックします。

3-4. メニューの削除

ユーザ設定ダイアログが表示されている状態で、メニュー「はんこ」をマウス右クリックし、プルダウンメニューから「削除」を選択すればメニュー「はんこ」が削除されます。

WORD を再起動し、はんこツールバーが表示されないこと、マクロが存在しないことを確認してください。

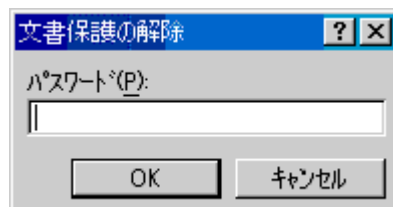
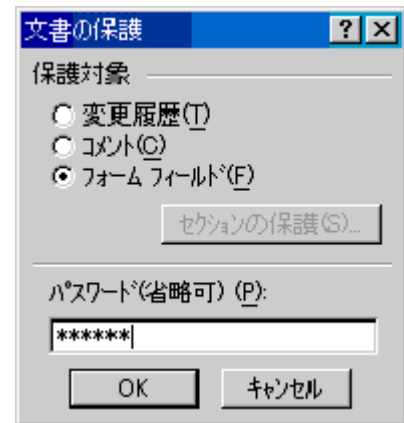


4.文書のロック(保護)

承認はんこ/日付印ぺったんはOLEオブジェクトを用いているため、挿入した印影を他の文書へコピーする、あるいは、削除してしまうことができます。セキュリティ上問題ですが、MS-WORDの「文書の保護」機能を用いることにより、文書の一切の変更をできなくして行うことができます。

MS-WORD のメニュー「ツール」->「文書の保護」を選択します。文書の保護ダイアログ（右の図）が表示されます。フォームフィールドを選択し、パスワードを入力します。これで、オブジェクトへの操作が一切できなくなります。

保護を解除する場合はメニュー「ツール」->「シート保護の解除」を選択します。保護した時に設定したパスワードを入力すれば保護を解除することができます。



5.承認定型用紙

議事録や報告書などに押印する場合、あらかじめ定型用紙にはんこオブジェクトを挿入しておくことで便利です。下の例は、MS-WORD の罫線描画機能を用いて、承認と審査の枠を作成し、枠の中にはんこオブジェクトを挿入したものです。まだ、承認を受けていませんので、印影は現れていません。

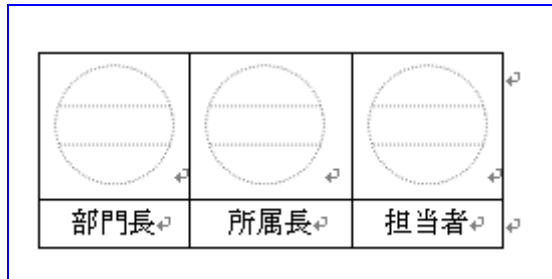


図 5-1. 日付印ったんオブジェクトがあらかじめ挿入されている。

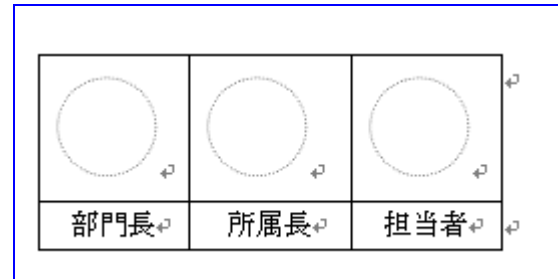


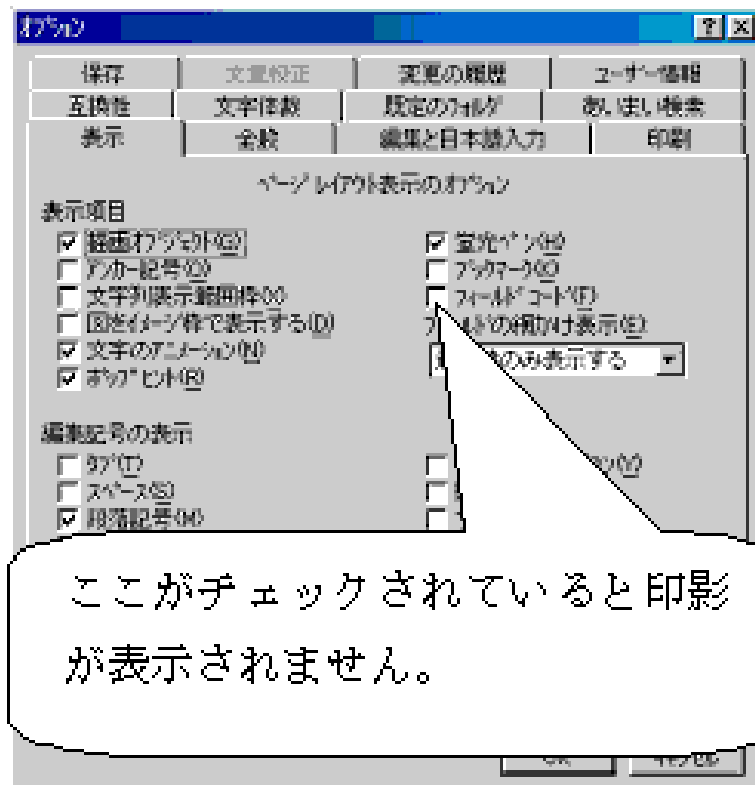
図 5-2. 承認はんこオブジェクトがあらかじめ挿入されている。

この状態を作成するのは簡単です。はんこオブジェクトを通常の方法で挿入し、承認しなければこの状態になります。承認しない状態でははんこオブジェクトは上の図のように黒の破線になっています。

印影をダブルクリックし、はんこオブジェクトをアクティブ化すれば、押印することができます。このように定型様式にあらかじめ承認はんこオブジェクトを挿入しておけば、押印場所の移動などに手間取ることがなくなります。

6. 印影の代わりに {EMBED Shank.Document} が表示される(Word2003 以前)

印影が表示されずに、代わりに {EMBED Shank.Document} なる表示が出てことがあります。MS-WORD の環境設定でフィールドコードがチェックされていると、印影が表示されなことがあります。メニュー「ツール」→「オプション」→「表示タグ」の「フィールドコード」チェックボックスを外してください。



Appendix A. 押印メニューバーアドインマクロの作成・修正

押印メニューバーアドインマクロ・テンプレート(hanko.dot)を修正したい場合やマクロがエラーを起こす場合はマクロのソースコードからアドインマクロを再作成してください。この章では、再コンパイルの方法を説明いたします。

Word2002、Word2007 の場合を例に、アドインマクロの作成・修正方法について説明いたします。

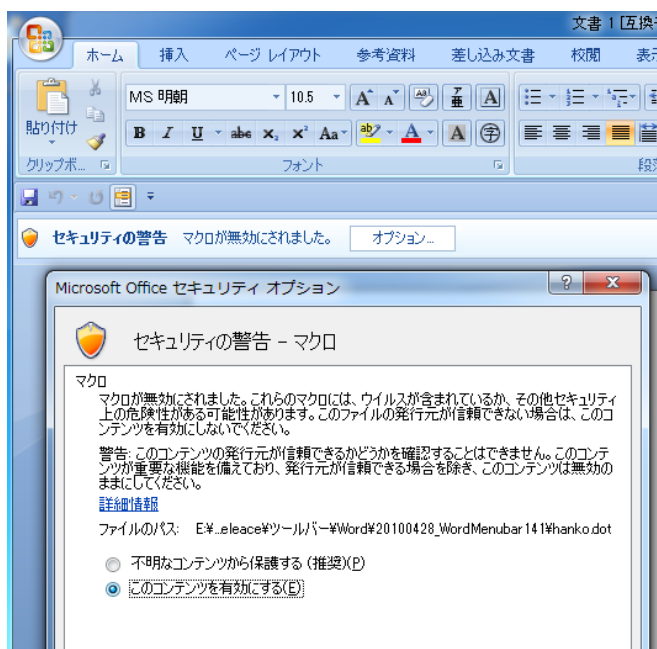
注) 押印メニューバーアドインマクロ・テンプレート(hanko.dot) が Word に組み込まれている場合には、ソースコードを編集する前に組み込みを解除しておくことをお勧めいたします。アドインマクロテンプレート hanko_*.dot が組み込まれた状態でアドインマクロテンプレート hanko_*.dot を開くと2つのソースコードが表示され混乱するかもしれません。

アドインマクロテンプレート hanko_*.dot の組み込み解除はスタートアップフォルダーからアドインマクロテンプレート hanko_*.dot を削除します。

押印メニューバーアドインマクロ・テンプレートファイル(hanko_*.dot)を開きます。

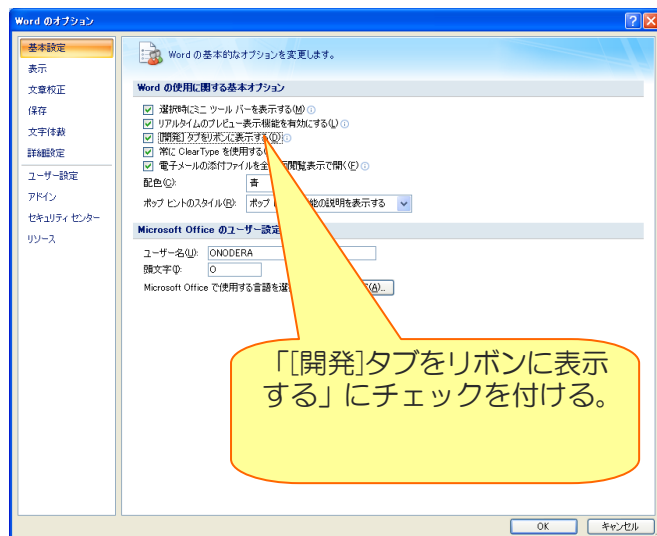
「セキュリティ警告 マクロが無効にされました。」と表示されます。

ボタン「オプション」をクリックし、「このコンテンツを有効にする」を選択します。



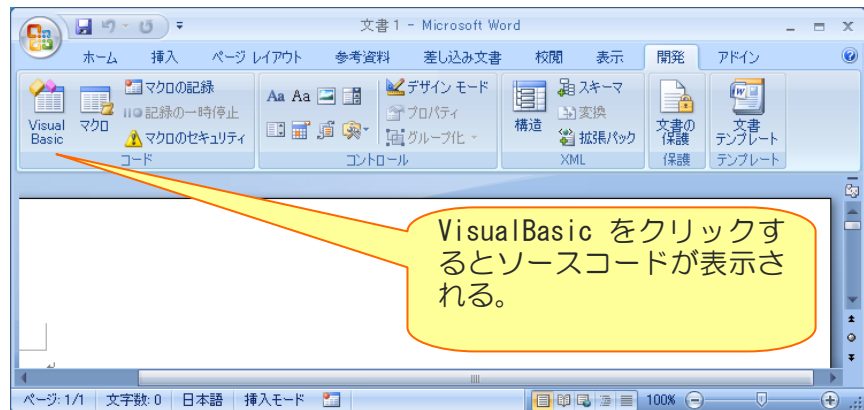
手順O) Word2007 の場合はあらかじめ開発タブを表示させます。(Word2002 では不要)

「Excel のオプション」ダイアログを表示し、「[開発]タブをリボンに表示する」にチェックを付け、ボタン OK をクリックします。

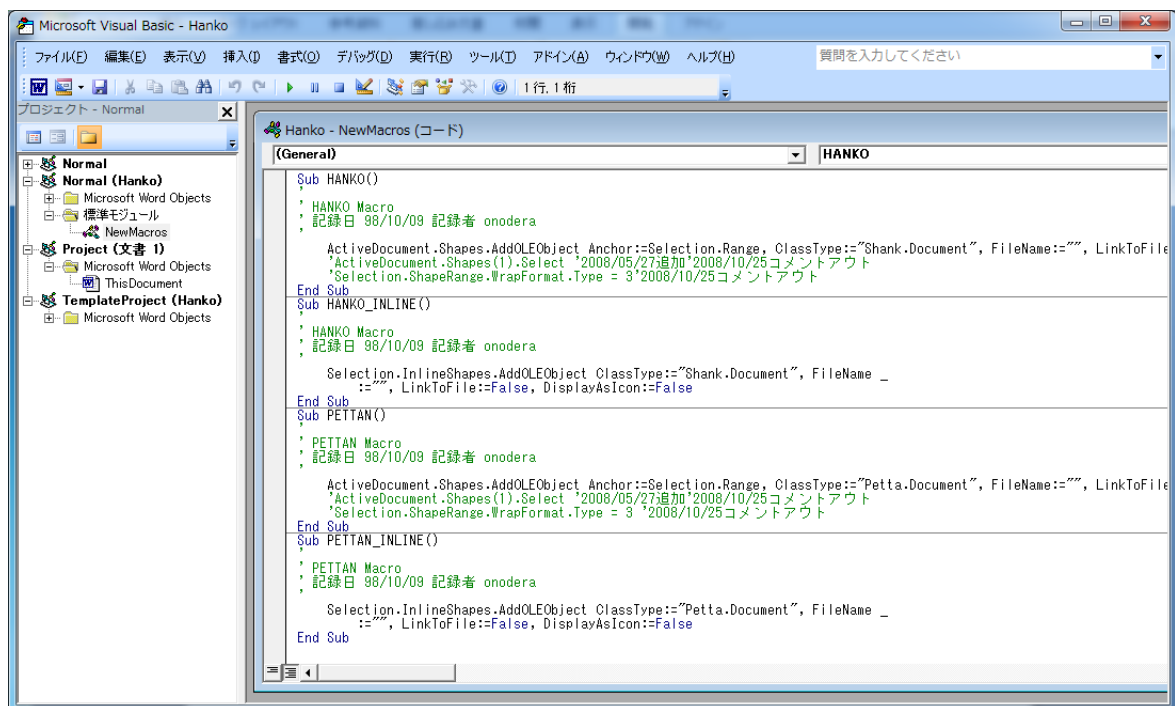


テンプレートファイル hanko.dot を開く。

開発タブを選択するとメニュー VisualBasic が表示される。
VisualBasic をクリックしソースコードを表示する。



ソースコードが表示されます。



Appendix B. Word2007 におけるアドインダイアログの表示方法

Word2007 でのアドインダイアログの表示方法について簡単に説明いたします。

手順0) Word2007 が起動されていない場合は起動します。

手順1) Word2007 の左上にある Office ボタンをクリックします。開いたメニュー一覧から、ボタン「Word のオプション」をクリックすると、「Word のオプション」ダイアログが表示されます。(図 C-1)

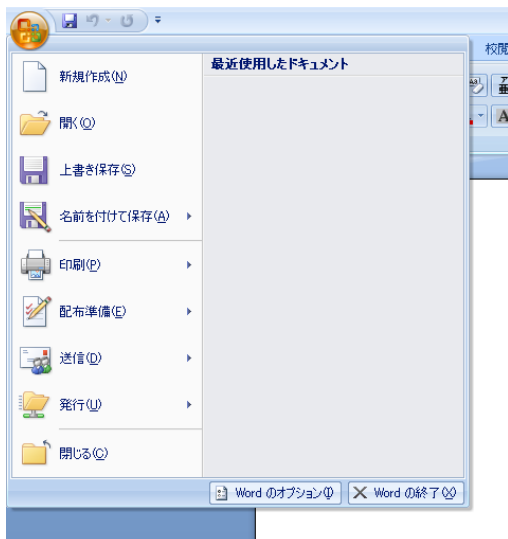


図 C-1 Office ボタンをクリックし、ボタン「Word のオプション」をクリックします。

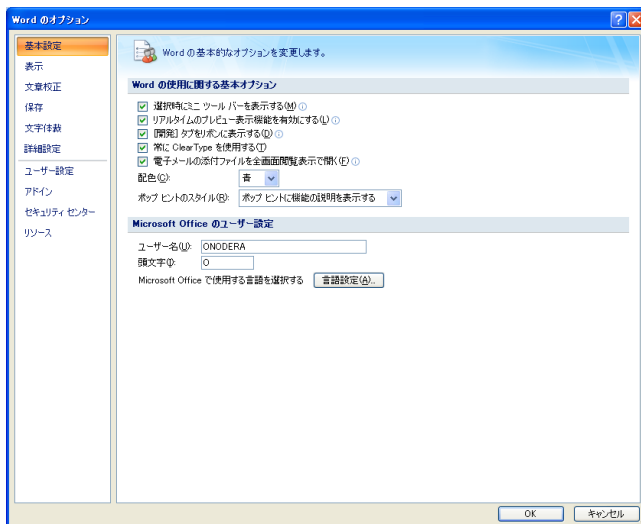


図 C-2 Word のオプションダイアログが開きますので、左メニューから「アドイン」を選択します。

手順2) Word のオプションダイアログの左メニューから「アドイン」を選択します。(図 D-2) 選択するとアドインリストが表示されます。(図 C-3)

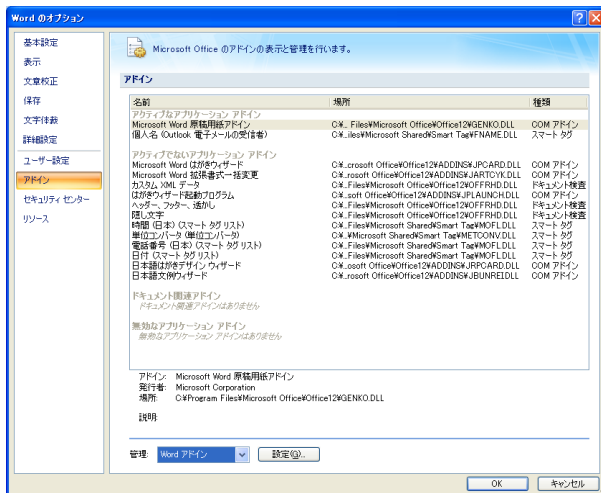


図 C-3 左メニューの「アドイン」を選択するとアドインリストが表示されます。ボタン「設定」をクリックします。

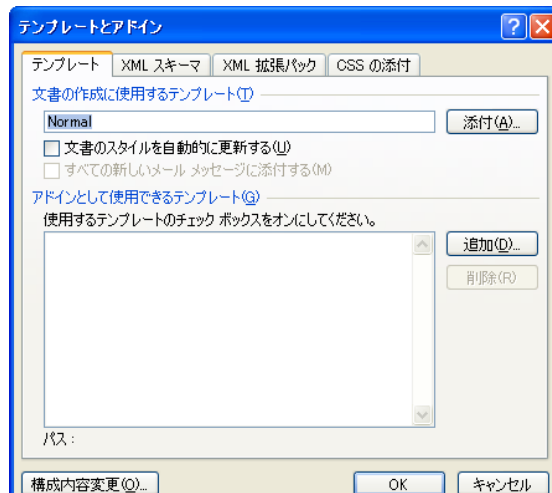


図 C-4 テンプレートとアドインダイアログが表示されます。

手順3) 管理が「Word アドイン」になっていることを確認して、ボタン「設定」をクリックします。(図 C-3)

Word2003/2002/2000 でおなじみのアドインダイアログが表示されます。(図 C-4)

おわり

Appendix C.. スタートアップフォルダーの確認方法

テンプレートファイルを配置するスタートアップフォルダーの確認方法を説明します。
スタートアップフォルダーはデフォルトでは以下の場所になっています。

【Windows7 および Windows Vista の場合】

C:\ユーザー\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\Word\STARTUP

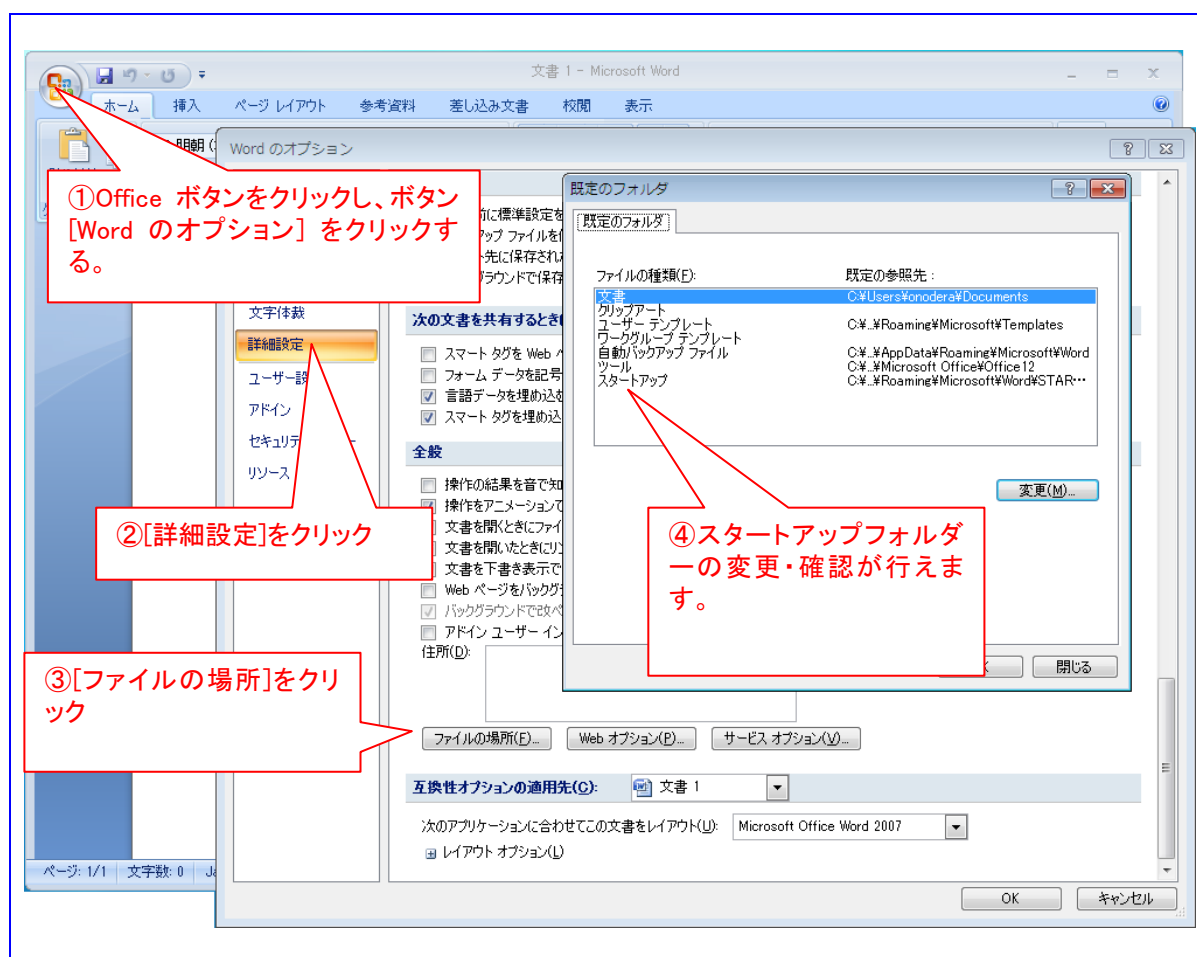
【WindowsXP および Windows2000 の場合】

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Application Data\Microsoft\Word\STARTUP

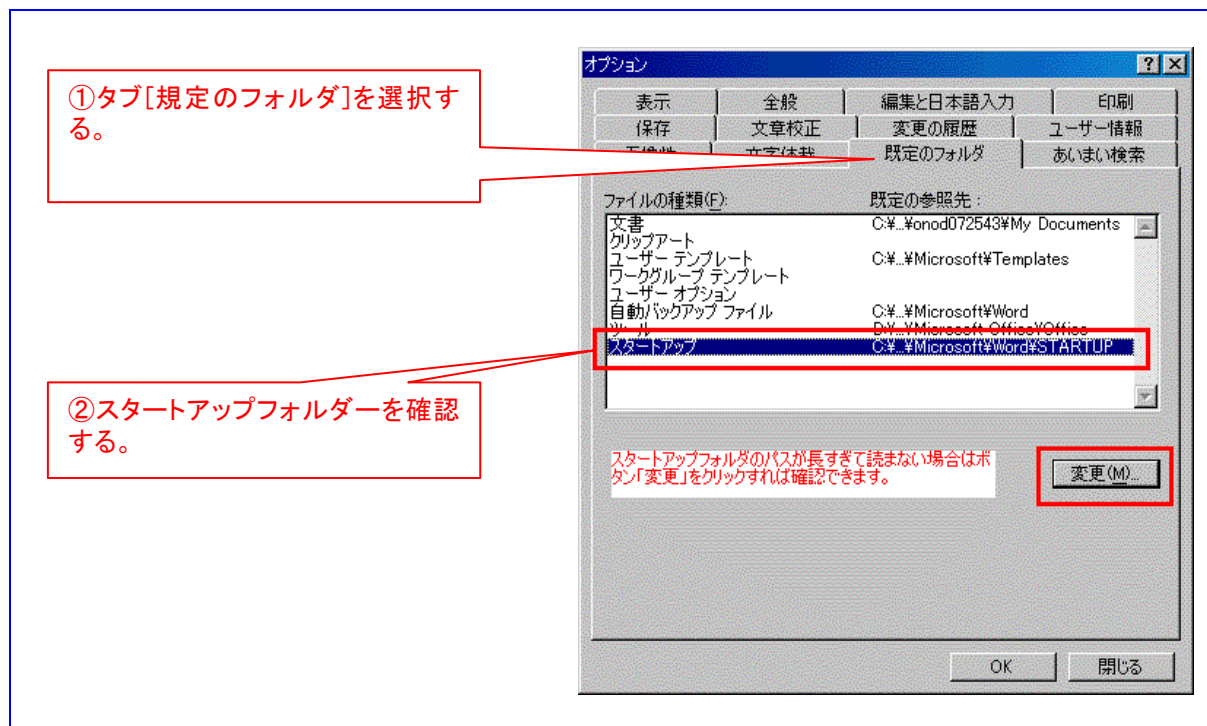
スタートアップフォルダーに配置したテンプレートファイルは[アドイン]ダイアログに初期表示されます。

手順1) Word が起動されていない場合は起動します。

手順2) オプションダイアログを開き、スタートアップフォルダーを確認します。



スタートアップフォルダーの確認方法。この図は Word2007 の場合です。



Word2003, 2002, 200 の場合。メニュー「ツール」->「オプション」をクリックし、タブ「規定のフォルダ」でスタートアップフォルダーを確認することができます。

手順3) Word を終了します。

とろろこんぶシステム工房

<http://www.tororokonbu.jp/>

お問合せ先： support@tororokonbu.jp